

## 慢性疾患領域での看護実践モデル

コーディネーター 北里大学東病院 菊 一 好 子

1990年代に入って、日本の看護は「量」から「質」を求められる時代となり、看護師一人ひとりが専門職として自律をめざして成長していくことが必要になる。この状況を踏まえ、日本看護協会は平成6(1994)年に専門看護師および認定看護師制度を設け、スペシャリスト育成の実績を上げてきている。当院でもがん看護分野と、WOC看護分野の認定者が活躍している。

一方、北里大学病院・北里大学東病院では、北里大学看護学部との三者で共同し、平成4年2月より「北里専門看護師システム検討会」を発足させた。これは、医療の現場の高度専門化に対応する、専門的な知識と技術を有した、北里大学病院・東病院独自の専門看護師を育成することをめざしたものである。

北里専門看護師システム検討会では、これまでに1995年「感染看護」、1996年「循環器看護」、1997年「神経難病看護」の3コースを実施した。それぞれのコース修了者は、臨床での実績を積み、認定委員会での審査を経て2000年5月に8名の「北里専門看護師」(感染看護1名、循環器看護4名、神経難病看護3名)が誕生した。この「北里専門看護師」は、特定の看護分野において、高度な知識と熟練した看護技術を用いて水準の高い看護実践のできる臨床看護の実践モデルとなり得ると考える。

今回この交流セッションでは、日本看護協会の認定制度にはない、慢性疾患領域の「神経難病看護」北里専門看護師のカリキュラムの概要と実践活動状況を紹介する。彼女らは、現在「病棟」「在宅」「教育専任」のそれぞれの立場で看護実践モデルとして活躍しているが、日々の看護実践での悩みや喜び、やりがいなどについて語ってもらう予定である。慢性疾患領域の看護実践を体験している多くの方々の参加をいただき、相互に交流を深めることができれば幸いである。

### プレゼンテーター

- |       |                                |
|-------|--------------------------------|
| 前川 恭子 | 北里大学東病院教育担当看護係長<br>北里神経難病専門看護師 |
| 大谷 玲子 | 北里大学東病院総合相談部主任<br>北里神経難病専門看護師  |
| 吉原 千恵 | 北里大学東病院神経内科病棟主任<br>北里神経難病専門看護師 |